

こども弁当& こども宅食プロジェクト

NPO北海道
ネウボラ

所在地

〒064-0811

北海道札幌市中央区
南11条西12丁目1-34-103

連絡先

TEL 080-8122-2555

MAIL hokkaido.neuvola@gmail.com

ホームページ

NPO北海道ネウボラ オフィシャルサイト
<https://hokkaido-neuvola.com/>



※2023/4からHPIに団体収支を掲載予定

本報告書は、令和3年札幌市子どもの見守り強化事業補助金で作成、令和4年度同補助金で改版・増刷いたしました。

2022年 活動報告

NPO北海道ネウボラ



持続可能な未来 北海道に豊かさを

理事長
五嶋 耀祥

Message From The President
理事長からのご挨拶

一般社団法人ファミリー支援INV
協会 代表理事／ハッピー・ファム
合同会社 代表／北海道子どもの
未来づくり審議会委員 3期6年

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

私たちの世代は氷河期世代、ロスジェネ世代などと呼ばれ、少し上の世代から比べると少子高齢化社会と呼ばれる現代、人口が先細りし始める先陣を切った世代と言えるかもしれません。しかも、日本のバブル崩壊とともに、満足な就職先がなかったり、その後のリーマンショックの影響を大きく受け、非正規雇用が拡大、正社員であっても賃金が低下するなど不遇な雇用環境を体験してきた世代でもあります。

キャリアの維持やその生活の維持のため、高齢出産、かつての世の中よりも高年齢での子育てを余儀なくされる時代となっておりますが、私自身は現在42歳ですが妊娠年齢が人より少しだけ早めの26歳だったことから、同世代の子育てより早くその体験をしてきたと言えるかもしれません。

世代の境目、人口変化、環境変化、IT化など技術革新により時代の変化が著しい21世紀となり、子育てや地域の在り方についても新しい時代にあった形が求められています。新しい社会を創ることは容易ではありませんが、それは私たちの老後のためもあり、子どもや孫世代の為という事もあります。

本事業は、私のあの無明苦、真っ暗闇のトンネルの中にいるような、暗黒の子育て乳幼児期と振り返る過去の「あの時、あつたらよかった」を実現するサービスプランです。

人と話す機会もなく孤立していた上に、貯蓄が無かったため、



応援の声 Voice of Support



子どもが安心して過ごせる場所とは、どのような場所でしょうか。「子どもの居場所」については、子ども食堂や学習支援、多世代交流などを通して注目されるようになりました。北海道ネウボラの活動は、教育と福祉の先進国である北欧の考え方を取り入れ、親子で安心して過ごせる居場所を提供しています。今後、北海道という地域に根差した活動を通して、益々のご発展を祈念しております。

研究者 西浦 和樹

宮城学院女子大学教育学部・教授

役員のご挨拶

Greetings From Officers



ネウボラとは、フィンランド語で「アドバイスの場」という意味をもつ子育て支援施設です。妊娠期からの切れ目ない家族支援を実施する「手をつなぐ子育て」フィンランドのしあわせな子育ての仕組みを北海道で、現在のパパ・ママのニーズに応える地域の居場所を提供しています。こども宅食とは様々な子育て家庭が困るにつながるまさにネウボラのような予防支援!食品等のお届けは、訪問する私たちと対話できるきっかけとなり、「またネウボラさんきたわ」と、必要な時に相談できたり、必要に応じて情報提供や様々な支援にもつながります。忙しいパパ・ママの家事の心配や負担が減ることで、「笑顔で家族と団欒ができるように!」との想いを込めて、食品をお届けしています。

代表 坂本 千春

一般社団法人ファミリー支援INV協会 マスターインストラクター会員／pipiナーシング 代表



顧問 工藤 遥

一般社団法人ファミリー支援INV協会 正会員
拓殖大学北海道短期大学 助教

NPO北海道ネウボラは、妊娠期からの切れ目ない寄り添い型の家族支援である北欧フィンランドの「ネウボラ」を理念モデルに掲げ、北海道の子育て当事者自らが、子育て家族に優しい社会の実現を目指して活動をしている市民団体です。これまで国内外の多くの実務者や専門家のの方々とつながりながら、子育て当事者の声を広く発信し、様々な先駆的活動・事業を世に送り出してまいりました。これからも、地道な取り組みの種を一つ一つ着実に蒔き、皆さまからのあたたかいご支援・ご協力をいただきながら育んでいき、子どもと家族が幸せに暮らせる社会環境や地域づくりが全国各地で大きく花開くように、北海道から活動・発信を続けてまいります。



こども弁当 こども宅食

Lunch Box & Home Meal

こども弁当は2020年4月コロナ禍全国一斉休校期間中にNPO北海道ネウボラが始めた無料弁当による子育て家庭向け支援、こども宅食は2017年に文京区で始まり、食品のお届けをきっかけに安心できるつながりをつくり、様々な支援につないでいく取り組み。NPO北海道ネウボラは、認定NPO法人フローレンス運営するこども宅食応援団リーダー会員です。



こども弁当 ファミリー支援員が活躍

福祉の助成金や寄付を活用した無料のお弁当を子育て家庭へお届けする取り組み。2021年からは吉野家さんからの牛丼並盛り毎月130食をご寄付いただき、申し込みの方に抽選で月1回イベントとしてお届け。2021年には中島公園児童館と連携しての会場配布も行いました。



訪問支援 ファミリー支援員が活躍

こども弁当や日用品のお届けと共に玄関先で、こんにちは、元気だった?最近どう?お友達と出会う感覚で傾聴と対話のスキルを持つ有資格者ファミリー支援員とおしゃべりしながら役に立つ福祉の情報もお届け。必要なご家庭には支援員が滞在するサービスも提供しています。



2021/7~2022/3まで1170個寄付 スポンサー企業様からのコメント

飲食業として、孤食や貧困といった社会問題は看過することはできません。当社として永続的にできることは何かと考えたときに武器(商品)である暖かい牛丼の提供と思い、活動を開始させていただきました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



NPO北海道ネウボラの こども宅食

Home Meal



ネウボラの提供品に
助けられています

吉野家の牛丼だけじゃなくてミルクやおむつ、日用品も!嬉しいです!すごく助かります!
※提供できる日用品は寄付状況によります。



ネウボラのおかげで
時間が生まれました

乳幼児がいるとご飯を作る時間も取れない、
子どもと遊べる時間が増えるのでとても役に立つ
てます。



インフォメーション Information

YouTube はコチラ▼

きみと繋がる ~2021札幌東陵高校放送部~

札幌東陵高校放送部にNPO北海道ネウボラのこども弁当の取り組みを取材いただきました。高校生がみた子育て支援の社会活動とは!?



活動内容

Activity Content



赤ちゃんひろば

市内10箇所の出張型MamMamステーション、ネウボラ相談室、デジタルネウボライベントにて各会場月1回赤ちゃんひろばを開催しています。完全予約制、予約方法はHPからご確認ください。※休止している拠点があります。開催箇所の最新情報は巻末の公式サイトよりご確認ください。

ファミリー支援員が活躍



ネウボラ相談室

1時間まで無料の対面での子育て相談、オンラインでの相談はネウボラ相談室モイ・ルーム公式LINEから、LINEでのチャット、zoomでの面談も可能です。

ファミリー支援協会が担当



<https://jp.freepik.com/photos/health>

女性と子どもの安心ファミリーセンター

女性と子ども、どなたでも様々な困りごとの相談、様々な用途の居場所として利用いただくことができます。ご利用にあたっては、事前相談と予約が必要です。看護師スタッフがいるので安心。妊娠検査、性教育、不登校の相談、血圧の測定、簡単な健康相談。"まちの保健室"として、また、食糧等備蓄があるので緊急時の"防災拠点"としても。

ファミリー支援協会が担当



こども食堂★ラップセット

NPO北海道ネウボラの子ども食堂★ラップセットはmoi・fan・space<Kiitos>女性と子どもの安心ファミリーセンターで毎週火曜日開催。その場で食べる・テイクアウト・宅配からニーズに合わせてご利用いただけます。札幌市保健所福祉サービス届出済み。※開催状況には資金状況により変動があります。最新情報はキーストス公式LINEで配信しています。

ファミリー支援員が活躍



あおぞらマーケット&キーツ市

子ども食堂★ラップセットと連携し、お惣菜やハンドメイド、縁日などのマーケットを通して地域とつながる共生社会を目指す取り組み。無料のおさがり・子ども宅食の日用品等を配布するキーツ市も。※2022年からは地域と連携したマーケットへの出展もしています。

ファミリー支援員が活躍



調査研究・政策提言

北海道ネウボラ研究会・シンポジウムを軸にした普及啓蒙のため勉強会を通して知つてもらうことから始まり、調査研究からの政策提言や署名活動をすることで、北海道・札幌市の暮らしをよくするためアイデアを提案、時には記者会見を開きメディアを通して社会変化を促しています。

北海道ネウボラ研究会の知見を基に発信しています

後援企業・団体

Sponsoring Companies / Organizations

●賛助会員

pipiナーシング

●連携先

北海道立女性プラザ、札幌市男女共同参画センター、NPO法人北海道NPOサポートセンター、札幌市社会福祉協議会、公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会、医療法人稻生会、札幌乳児院児童家庭相談センター、NPO法人あかはなスマイルキッズ、NPO法人フードバンクイコロさっぽろ、フードバンクとまこまい、子ども・若者の居場所「いとこんち」、しんぐるまざあず・ふおーらむ北海道、丸井今井札幌本店、イオン札幌麻生店、イオン札幌桑園店

●協賛・スポンサー

ハッピー・ファム合同会社、吉野家

●加入団体

一般社団法人ファミリー支援INV協会、認定NPO法人児童虐待防止全国ネットワーク、一般社団法人こども宅食応援団、NPO法人おてらおやつクラブ、札幌市IoTコンソーシアム

●メディア実績

NHKニュースウォッチ9(2020年)、北海道の全放送局、北海道新聞、日経新聞、毎日新聞、読売新聞、朝日新聞、苦小牧民報、他多数

●受賞歴

北海道未来輝く子育て応援大賞(2019年)、マニフェスト大賞北海道エリア選抜認定(2020年)

●助成実績

札幌市さぽーとほっとほっと基金、子ども虐待防止オレンジリボン共催イベント2021、子ども虐待防止オレンジリボン運動新型コロナウイルス感染症対策下における子ども虐待防止に資する活動への助成、赤い羽根(全国、北海道)、全国こども食堂支援センター・むすびえ、子ども夢基金、こども基金、越智基金、他多数

●オレンジリボン運動



フィンランドのネウボラはすべてのこどもと家族に優しい子育て支援の仕組み、困る前につながること、必要な支援につなぐことで、フィンランドの子ども虐待死の件数はほぼゼロ、私たちNPO北海道ネウボラは北海道での子ども虐待死ゼロを目指し認定NPO法人児童虐待防止全国ネットワークと連携して、オレンジリボン運動を展開しています。

ご寄付のお申し出について

Donation

連絡先へお名前、ご住所、電話番号、振り込み金額をご連絡の上、下記口座へお振込ください。

振り込み先 エヌピーオーホッカイドウネウボラ

ゆうちょ銀行 19040 番号 51769001

他行から九〇八(キュウゼロハチ)店番908 普通預金 口座番号 5176900

インターネットからのご寄付のお申し込みはクレジット決済もできます。

次のQRコードからお願いしております。



本パンフレットをホームページで公開しています。



2020年のしんぐるまざあず・ふおーらむ北海道の活動報告の中で紹介されました。

